

ゆとり と チャンス の

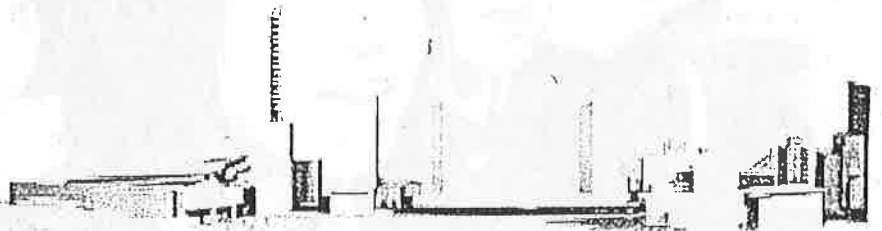
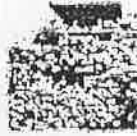


2007

埼玉プラン

2011

埼玉県5か年計画



埼玉県

子どもを鍛える

1 学力・規律ある態度・体力の徹底的な向上

〈担当部局：保健医療部 農林部 教育局〉



子どもたちの学力・規範意識・体力の低下が指摘されています。

社会の一員として自立した人間を育てるためには、すべての子どもたちが、生きる力を育む知・徳・体の基礎を確実に身に付けていくことが大切です。

そのためには、教育のプロが集まる学校が「核」となりながら、積極的に家庭や地域に働きかけ、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開することが必要です。





課題 への 対応

本県独自の取組である「教育に関する3つの達成目標*」に、学校・家庭・地域が連携して、全県を挙げて着実に取り組みます。目標が達成できない子どもたちに対しては粘り強く指導します。知・徳・体を支える食育にも積極的に取り組みます。

子どもたちの実体験が不足している現状を踏まえ、すべての小・中・高校生に体験活動の機会を与え、社会力の育成に取り組みます。

学校教育の効果を高めるため、学校での取組を地域の人々に積極的に公開し、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させます。

また、地域の様々な人による「学校応援団*」を組織することにより、学校における学習の質を高めるとともに、多様な人との交流を通して、子どもたちの生きる力や社会性を向上させます。

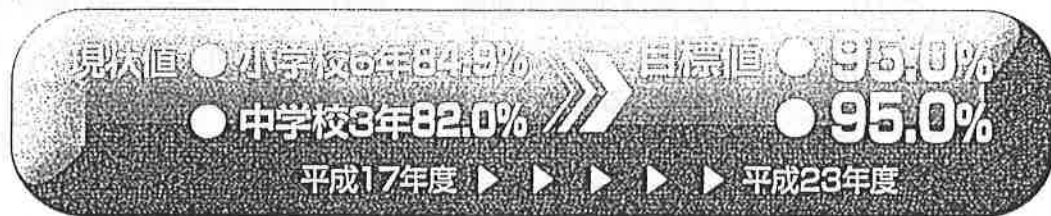
さらに、家庭の教育力を高めるため、子育て支援や「親の学習*」などを進めます。

具体的 な 取組

- 》「教育に関する3つの達成目標」の実施
- 》学校・家庭・地域が連携した食育の実施
- 》「埼玉の子ども70万人体験活動*」などの実施による社会力の育成
- 》学校評価システムの確立と第三者評価の実施
- 》地域や家庭が学校を支える「学校応援団」の組織化
- 》子育て支援や「親の学習」の実施などによる家庭教育の支援
- 》運動場(活動)の公開等による機会充実

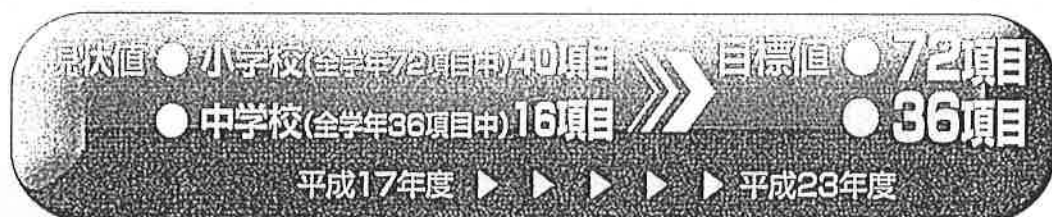
戦略指標

「教育に関する3つの達成目標」における ▲ 基礎学力定着度



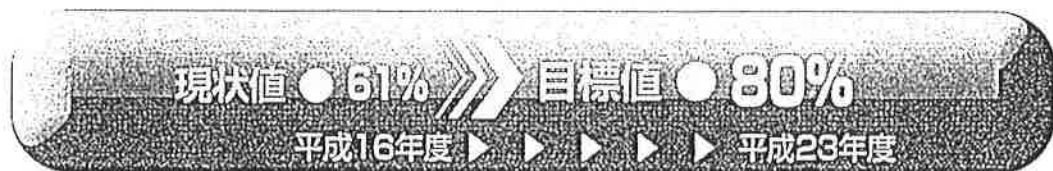
「教育に関する3つの達成目標」の効果を検証するため、県内全小中学生を対象に実施する「読む・書く」「計算」のペーパーテストの平均正答率です。

児童生徒の8割以上に身に付いている ▲ 「規律ある態度」の項目数



県内全小中学生を対象に実施する「規律ある態度」の質問紙調査において、児童生徒の8割以上が「よくできる」「だいたいできる」と回答した項目数です。(各学年でそれぞれ12の達成目標を設定)

体力テストの結果で全国平均を上回っている ▲ 項目数の割合



基本目標 ● 次代を担う子どもたちを育てる

施策

確かな学力の育成

〈担当部局：産業労働部 教育局〉

きめ細かな徹底した指導を行い、子どもたちに基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせます。発展的な学習や補充的な学習により、一人一人の個性・能力に応じて、それぞれの力を伸ばします。授業の工夫・改善を行い、学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高めます。また、勤労観・職業観を育む教育を進めます。

主な取組

- 》「教育に関する3つの達成目標*」の実施
- 》習熟度別指導や補充的指導の実施
- 》研修などによる教員の授業力の向上
- 》ITを活用した授業の実施
- 》県立学校の教員用コンピュータの整備
- 》勤労観・職業観を育むキャリア教育*の実施

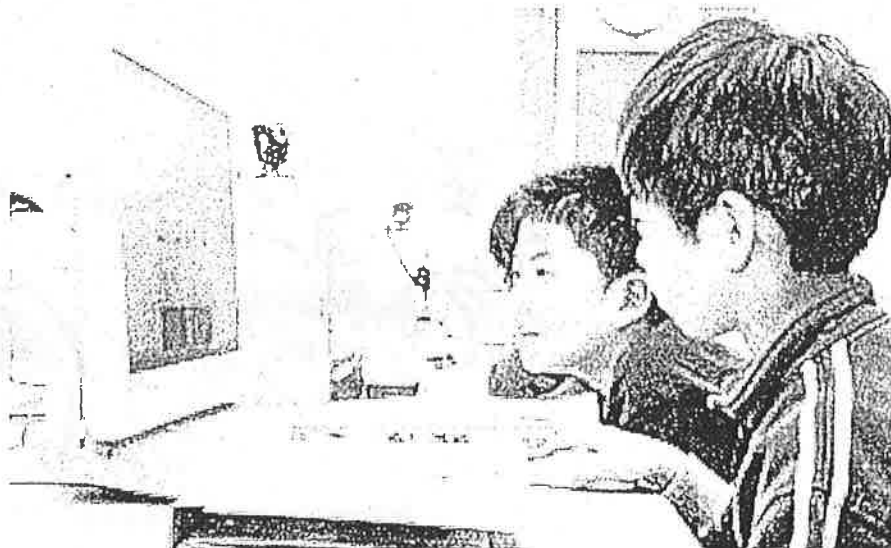
施策指標〈戦略指標〉

「教育に関する3つの達成目標」における基礎学力定着度

| | 現状値 | 目標値 |
|---------|-------|-------|
| 小学校6年 ● | 84.9% | 95.0% |
| 中学校3年 ● | 82.0% | 95.0% |

平成17年度 ▶▶▶▶▶ 平成23年度

「教育に関する3つの達成目標」の効果を検証するため、県内全小中学生を対象に実施する「読む・書く」「計算」のペーパーテストの平均正答率です。



ITを活用した授業

施策

子どもたちの健康増進・体力向上

〈担当部局：教育局〉

体育活動や運動部活動の充実により、家庭・地域と連携しながら体力・運動能力を向上させます。健康づくりの基本となる食育に取り組み、子どもたちに望ましい食習慣を身に付けさせます。

主な取組

- 》「教育に関する3つの達成目標*」の実施
- 》体力テストの継続的な実施
- 》小学校における体育活動充実のための教員・指導員などの配置
- 》運動部活動指導者研修会の実施、外部指導者の派遣
- 》学校における食育の実施

施策指標〈戦略指標〉

体力テストの結果で全国平均を上回っている項目数の割合

現状値 ● 61% >>> 目標値 ● 80%

平成16年度 ▶▶▶▶▶ 平成23年度

施策指標

朝食をほとんど食べない子どもたちの割合

| | 現状値 | 目標値 |
|-------|------|----------|
| 小学生 ● | 2.0% | >>> 1%未満 |
| 中学生 ● | 4.5% | >>> 1%未満 |

平成17年度 ▶▶▶▶▶ 平成23年度



農業体験を通して食の大切さを学ぶ

施策

魅力ある高校教育の推進

〈担当部局：産業労働部 教育局〉

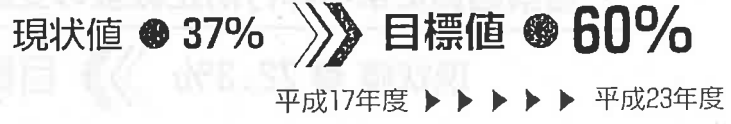
高校教育において、大学や研究機関とも連携しながら一人一人の個性・能力を伸ばす多様な学習機会を提供します。幅広い教育ニーズに対応するため、総合学科*や単位制高校*の設置など特色ある高校づくりを進めます。また、就業体験活動などを通し、生徒に将来の目的意識を持たせ中途退学の防止につなげます。

主な取組

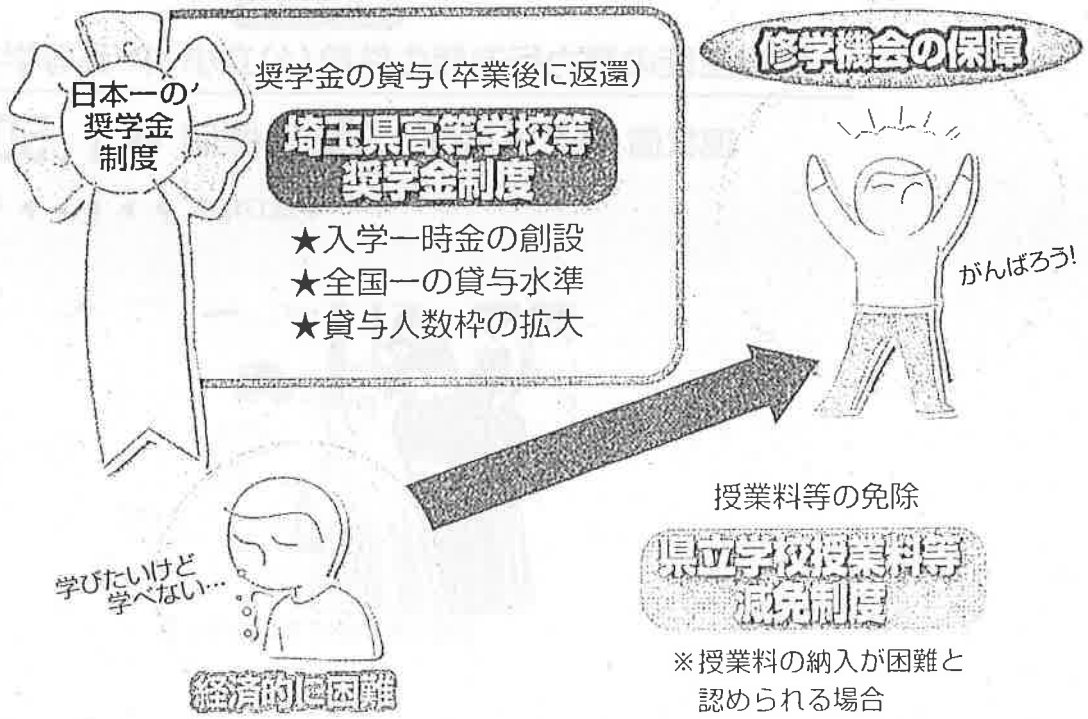
- 》大学、研究機関、民間企業などと連携した教育活動の実施
- 》先進的な教育プログラムを開発・実施する県立高校のネットワークの形成
- 》海外における学習機会の確保
- 》総合学科高校、単位制高校や再チャレンジの意欲に応える県立高校の整備
- 》就業体験活動の実施などによる中途退学の防止
- 》中学校における進路指導や高校入学者選抜の改善
- 》奨学金など修学支援制度の改善

施策指標〈戦略指標〉

大学や研究機関などと連携した講義や授業を継続して教育活動に取り入れている県立高校の割合



修学支援制度によるチャンスの拡大



施策

非行防止と立ち直りの支援

〈担当部局：総務部 福祉部 保健医療部 産業労働部 教育局 警察本部〉

非行や少年犯罪を減らすため、街頭補導や取締りの強化、有害環境浄化対策、相談・指導を行います。また、非行の芽が出やすい中学生の時期を中心に、家庭、学校、地域、行政、警察が一体となって啓発・教育活動を行います。さらに、NPOなどと連携して非行少年などの立ち直りを支援し、更生を促します。

主な取組

- 》子どもたちの規範意識を育てる教育の実施
- 》青少年相談・指導の実施
- 》スクール・サポーター*の派遣
- 》非行防止教室の開催
- 》薬物乱用防止対策の実施
- 》有害環境(図書、インターネットなど)浄化対策の実施
- 》非行防止パトロール活動の実施
- 》検挙・補導活動の徹底
- 》非行少年などの立ち直り支援
- 》高校中退者への相談や援助

施策指標

警察職員による非行防止教室の受講者割合(小・中学生)

現状値 ● 72.3% >>> 目標値 ● 100%

平成17年 ▶▶▶▶▶ 平成23年

少年非行の低年齢化を防止するという観点から、対象を小・中学生としました。

施策指標

児童生徒の暴力行為発生件数(公立小・中・高等学校)

現状値 ● 2,075件 >>> 目標値 ● 1,500件

平成17年度 ▶▶▶▶▶ 平成23年度



地域で清掃活動をする子どもたち